

報道関係各位

北の大地の水族館  
館長 山内 創

## 真の幻 北海道の春を告げる赤いイトウ 婚姻色の天然イトウ特別展示のお知らせ

北の大地の水族館では、北海道の春を告げる「赤いイトウ」の展示を4月27日(土)よりイトウの大水槽にて開始します。

幻の魚とも称されるイトウは、日本では北海道のみに生息する日本最大の淡水魚ですが(※1)、日本産のサケの仲間では唯一春に繁殖期を迎え、オスは婚姻色(※2)により頭より後ろが真っ赤に染まります。

婚姻色で赤くなったイトウは雪解けとともに上流へと移動して繁殖を行います、その姿は普通険しい山中の細流でしか見られず、人目に触れることは滅多にありません。また、水族館などの飼育下では婚姻色がほぼ出ません(※3)。まさしく**極めつけの幻の魚と断言していいでしょう。**

北の大地の水族館での展示には、朱鞠内湖淡水漁業協同組合のご協力により、自然環境に限りなく近い状態に作られた増殖用親魚池(※4)で飼育されている天然イトウの中でも、特に婚姻色がよく発現した個体をお借りしています。

館長はじめスタッフも大興奮した昨年の赤いイトウ



昨年の展示では、訪れたお客様方に大好評で、多くの知らずに訪れたお客様には大きなサプライズとなり、一方で赤いイトウを一目見たいと来館された方も少なくなく、遠くは東京からお越しになりました。

館長の山内は北海道に来てこの赤いイトウを自然界で見て大いに感動し毎年険しい山中に観察にいており、なんとか水族館で展示できないかと考え実現したのが今の方式です。毎年スタッフ一同大興奮で釘付けになっています。



通常展示のイトウ



# Press Release

## 展示スケジュール予定

4月26日 17:30 朱鞠内湖より到着予定

4月26日 17:45 大水槽へ（取材は可能です。ご相談下さい）

4月27日 08:30 水族館開館。公開開始（取材は、開館前から可能です。ご相談下さい）

赤いイトウはゴールデンウィーク期間中～5月中旬ごろまでご覧いただける予定ですが、イトウの状態により展示が終了となることもあります。ご了承下さい。

★提供写真の必要な方は、公開当日お越しいただいた時点でお渡しします。

メールによる送信に関しましては、公開当日 17:00 より送信させていただきます。

※1.イトウ：体長 1.5m 以上に成長する日本最大の淡水魚。日本では現在北海道のみに生息し、幻の魚とも呼ばれ環境省のレッドリストでは絶滅危惧 1B 類に選定されている。日本のサケの仲間の中で唯一の春に繁殖期を迎える。

尚、北の大地の水族館で通常展示しているイトウは、全国の水族館の中でも特別に大きく育つことで有名。他館では最大でも 90cm 程度のところ、当館では 120cm を超えるイトウがいる。

※2.婚姻色：繁殖期に特有の体色のこと。イトウはオスに顕著に現れ、体の頭部より後ろが真っ赤に染まる。

※3.道内各館に確認した所、赤くなることは無いとの回答が多数でした。理由は解明されていません。

※4.漁業権を取得している場合、その魚種について増殖義務があり、湖内で捕獲した成魚を増殖目的で飼育している池。河川水を用いた素掘り池の為自然環境に非常に近い。